

7 暮らしに潜む火災の原因

(1) こんろによる火災事例

天ぷら油を入れたフライパンをガス
こんろにかけ、その場を離れて家事を
していたら、炎が立ち上がっていた。



【こんろからの出火防止のポイント】

- ① 絶対にその場を離れない。
- ② その場を離れる時は必ず火を消す。
- ③ 周囲に燃えやすいものを置かない。
- ④ 油の付着を定期的に清掃する。
- ⑤ 過熱防止装置付きこんろを使用する。

こんな火災も起きています！

<揚げかすからの出火>

熱を持った天かすが1箇所にとめられると、内部に熱がこもり、温度が上昇し自然発火する場合があります。



(2) たばこによる火災事例

布団の上で喫煙しており、その際にたばこの火が布団に落下したことに気が付かず眠ってしまったため、その後、火災になった。



【たばこ火災を防ぐポイント】

- ① 吸い殻は水をかけ、消えていることを確認してから捨てる。
- ② 寝たばこはしない。
- ③ 灰皿に吸い殻をためずに、定期的に捨てる。

こんな火災も起きています！

<吸い殻からの出火>

吸い殻の溜まった灰皿で、たばこをもみ消しても火種が残っていると、溜まっていた吸い殻に燃え移り、ガラス製の灰皿では熱で割れ、火種が飛散する場合があります。



(3) 電気による火災事例

電気による火災はタンスなどの家具の下敷きとなった電気配線の短絡、たこ足配線、コンセント周りのホコリなどが原因で発生しています。



【電気器具からの出火防止のポイント】

- ① 冷蔵庫やテレビの後ろなど、普段隠れているところも掃除する。
- ② 電気製品のコードを束ねたまま使用しない。
- ③ 電気コードが家具などの下敷きにならないようにする。

こんな火災も起きています！

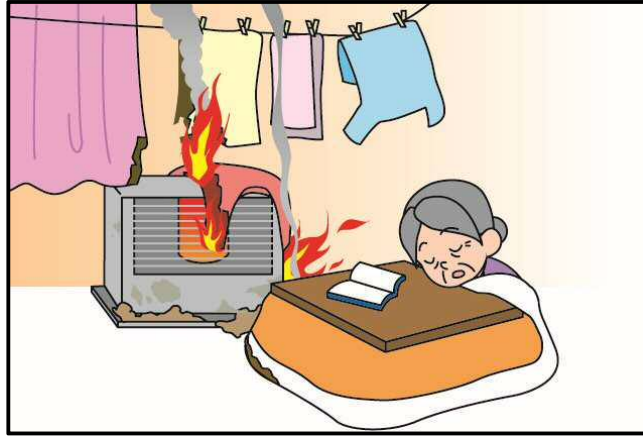
<白熱電球からの出火>

白熱電球を使用したダウンライトの真下に衣類等の可燃物を置いていると、電球の熱で加熱され、発火する場合があります。



(4) ストーブによる火災事例

ストーブの上に洗濯物を干したままこたつで寝ていると、洗濯物が落下しストーブに接触して出火していた。



【ストーブ火災を防ぐポイント】

- ① ストーブの近くに燃えやすいものを置かない。
- ② ストーブの上には洗濯物を干さない。
- ③ 出かけるときや寝る前は必ず火を消す。
- ④ 誤ってガソリンを入れない。

こんな火災も起きています

<ペットに起因する火災>

屋内で飼っているペットが切ったはずのストーブのスイッチを入れてしまい、近くにあった衣類等が触れ火災になった事例があります

